

「あなたがたの思い煩いを、いつさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」(ペテロの手紙第一 五章一〜十一節)

今朝は冒頭のみことばを中心に『神のお気づかい』と題してお伝えします。

「思い煩い」は、私たちの信仰生活で身近で、心を煩わされる問題の一つです。

そんな私たちに「神があなたがたのことを心配してくださるから」とあります。ペテロは、最後に「思い煩いをゆだねる」ことを告げました。それは次の二ヶ節に、私たちの思い煩いに付け込み、不信仰に引きずり込もうと虎視眈々と狙う巧妙な神に敵対する悪魔の執拗な介入にあります。「思い煩い・ゆだねる・心配」の三つのみことばに目が留まります。

思い煩いは、不安、心配、悩む、苦悩、懸念、心の重荷、病気等を意味し、これは第一に、イエスがマタイ十六章で「思い煩ら

- 1 「礼拝賛美」御手の中で
御手の中で
すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの御手の中で

- 2 御手の中で
すべては変わる感謝に
わがゆく道に あらわしたまえ
あなたの御手のわざを

【配布物】

- ・ 3月聖務表
- ・ 3月祈禱カレンダー
- ・ OMFニュースレター

※週報の発送について

次週3月4日付で発送します。

毎月月末に発送していますが、次週3月3日に教会総会資料の配布があるのでそこであわせて発送します。(ご理解ください。)

うな」と七回言及されており、それから守られる方法は六・三三節「まず神の国と義とを求めなさい」にあると言われました。第二に、パウロがピリピ四・五〜七「主は近いのです。」原文に近い訳に「あなたの主が近くにおられる」主の間近な臨在を覚えて祈るとき、心は平安に変わるのです。第三に、冒頭のペテロを通して語られたみことばです。彼の勧めは、単刀直入で、彼自身の体験的な勧告に思えてなりません。「神が…心配してくださる。」別訳は「考えてくださる」です。神の深い配慮を思われます。マタイ十六章で、イエスの多くの奇跡を見て、他のユダヤ人同様にユダヤ民族を隷属の世界から救うメシヤがくると待ち望んでいた一人でしたので、その

意味で「あなたはキリストです」と言ったのです。しかし、イエスは、ご自分が十字架にかけられ殺されるが甦るとの言葉に弟子たちは戸惑い、ペテロはイエスをいさめたために叱責を受けたのです。でも、イエスはペテロのために祈り慰め、励まされたのです。そんな彼は、イエスが捕縛された時、イエスを見捨てて逃げたのです。その後、イエスのことを三度否んで、イエスは彼を見つめられたとあります。激しく泣き、彼はその時、不甲斐ない自分に死んだのです。イエスの甦りを知った彼は、真の意味で十字架の死と復活の主に出会い、後に聖霊によって自分の罪のために血潮を流し、今そこに居ます生けるキリストから愛のお氣遣いを受けた実体験者、キリストの苦難の証人とされ、御子キリストにすべてをゆだねる術を学んだ人の勧めです。

2月25日	聖日礼拝	
第1礼拝	9時 荻野牧師	荻野し兄
第2礼拝	11時 菊地 兄	高橋美姉
前奏		
招詞	詩篇100篇1〜3節	
会衆賛美	聖歌28	
会衆賛美	御手の中で	
主の祈り		
交誼	詩篇23篇1〜6節 (旧約聖書 954頁)	
礼拝祈禱		
使徒信条		
聖書朗読	ペテロの手紙第一 5章1〜11節 (新約聖書 471頁)	
説教	神のお気づかい 田中英師	
会衆賛美	聖歌488	
献金		
頌栄	聖歌376	
祝祷		
報告		
感謝祈禱	奏楽	

【招詞(主の招きのことば)】
詩篇100篇1〜3節 「全地よ
主に向かつて喜びの声をあげよ喜
びをもって主に仕えよ 喜び歌い
つ御前に来たれ 知れ。主こそ神。
主が 私たちを造られた」アーメン

- 【本日の予定】
- 会堂清掃 第1・第2礼拝終了後
 - 小学科ホザナ礼拝 3階 11時〜
お話 荻野牧師
 - バイブルカフェ
談話室 12時15分〜45分
 - イースター特別賛美練習
礼拝堂 13時〜14時
 - 臨時役員会(予算委員会)
礼拝堂 14時15分〜16時
 - 青年キャンプ実行委員会(教団)
3階 15時〜

- 【本日の礼拝奉仕者】
- 第1礼拝
礼拝祈禱 荻野牧師
聖書朗読
献金1階 司会者
報告 荻野牧師
受付 配信チーム
 - 第2礼拝
礼拝祈禱
聖書朗読
献金1階 1階 司会者
2階
献金祈禱 司会者
報告 荻野牧師
会場 受付
 - 【来週の礼拝説教】
説教者 荻野牧師
聖書箇所 マタイの福音書
4章1〜11節

【教会暦の成り立ち】

教会暦には3つの柱があります。クリスマス、イースター、ペンテコステです。この3つの中で最も古くから祝われてきたものはイースターとそれに伴う受難節です。

初代のクリスチャンたちの一番の関心は主イエス様の十字架と復活でした。余談ですが、古代の教会は降誕にはあまり関心を払わなかったとか。そんなクリスマスが、現代ではクリスチャンであるなしに関わらず有名になっているのは不思議なことです。それはさておき、教会暦が成立する以前は、受難節の期間は地域や時代によってまちまちでした。6週間、7週間ということもあったそうです。それが日曜日を除いた40日とされたのは、イエス様やモーセ、エリヤが荒野で過ごした日数に倣ったことによりです。期間がまちまちであった一方、一貫していたのは断食が伴ったということ。ただし、これはそれ自体に意味があるというよりも、祈りに集中するためだったと考えられます。神との交わりに集中する40日間。かつてそのようにして、神と自分と向き合った聖徒たちを思い、その足跡をたどりたいものです。

【教会総会について】

- 日時 3月17日 13時半より
会場 蒲田シオン 礼拝堂
- スケジュール
*3月2日(土) 総会資料印刷
13時半より製本作業を行います。
人手があるかと助かります。
- *3月3日(日) 総会資料配布
- *3月4日(月) 総会資料発送
・3日に教会に来られなかった方に郵送します。郵便事情があるので到着まで日数がかかります。

- 議決権行使書の提出について
総会欠席の場合は提出ください。
- ・教会に来られる方
総会当日3月17日(日)第2礼拝終了まで受け付けます。

※郵便で返送の方

現在は土曜日の配達はありません。教会より配布する封筒を使用の場合は早めに投函してください。3月11日(月)迄に投函を。

【能登半島地震 情報】

発生からおよそ2か月。道路や水道の分断が支援の手を阻んでいると聞きます。そのために支援が届きにくいということなのか、それとも東京から遠いということなのか、報道が少しずつ下火になっているように感じます。しかし、まだまだ被災地の困難は続いています。先日、現地の事情に詳しい方(東京在住経営者)に話を聞いたところ、その方に被災地のお寺から支援要請の相談を受けたそうです。自主避難をしている人々への支援物資のことでした。被災者の苦勞を感じました。

- *ワールドビジョン・ジャパン
子どもたちのケアを行っています。七尾市と内灘町で、子どもと接する保育士保護者、教会学校教師を対象に、心理的応急処置研修を実施。保育園の保護者のためにティータイムも実施しました。
- *オバレーション・ブレッシング
・ジャパン
被災自治体の要請に基づく物資配布を現地教会と協力して行っています。また被災地の福祉施設で働く職員のために、能登ヘルプと救世軍と協力して「コーヒー&ドーナツ炊き出し」を実施。たいへん喜ばれたそうです。